

令和元年度勤労者将棋大会細則

1 試合方法

- | | | |
|-----------|------|-------|
| (1) クラス分け | Aクラス | 2段以上 |
| | Bクラス | 初段 |
| | Cクラス | 1級～2級 |
| | Dクラス | 3級～6級 |

※当日の参加状況によって、多少の変更があり得ます。

- (2) 持ち時間は、一局1時間を目安とし、時計使用の際の時間切れの場合は審判長の判定による。
- (3) 同一クラスの場合、下位級の人を先番とする。

2 対戦ルール(当日、審判長より説明)

- (1) 駒から手を離したら変更できない。反則は負け。ただし、投了後のアピールは無効。
- (2) 同一局面が4回生じた場合は千日手とし、引き分けとする。
- (3) 持将棋は、合計27点に満たないほうを負けとする。

3 順位の決定

- (1) 勝ち数の多いものの順とする。
- (2) 勝ち数が同数の場合は、上位の人を勝者とする。
- (3) 勝ち数同数・同級級位で、直接対局していたときは、その勝者とする。
- (4) 上記により決定できない場合は、審判長の判定による。
- (5) その他競技規則は、日本将棋連盟規則による。